

2018 年度事業報告書

特定非営利活動法人 ファミリーコミュニケーション・ラボ

I 事業期間

2018 年 1 月 1 日～2018 年 12 月 31 日

II 事業の成果

2018 年度も不登校児童生徒を持つ母親の支援を順調に実施することができました。昨年度からの変化として、

- ・母親への心の支援を目的として、昨年度に引き続き、2冊目となる本を作り提供できたこと。また、本を紹介するためのチラシを作成できたこと。
- ・母親に当法人の活動理解を深めてもらうため、新しいパンフレットを作成できたこと。
- ・ONLINE 交流会を開いている他の親の会と提携を行うこととなり、新たな交流拠点が1つ増えたこと。

などを通じて、

- ・母親の子ども理解、不登校理解を深め、状態受容までを円滑に進めること。
- ・その事により、父親も不登校を肯定的にとらえ、夫婦間の関係を肯定的にする事。
- ・また、こうした関係性の変容と同時に、親たちは自らの生き方を振り返り、新たな自立の道を模索し「自己変容」を促す機能を果たしている。

III 事業の実施状況

(1) (事業名) 各支部傾聴サークル と ランチ会・お茶会

(内 容) 傾聴サークルでは、不登校児童生徒を持つ母親を対象に子どもへの接し方の基本として傾聴をトレーニングします。ランチ会は、相談先や医療機関、進学先などの情報交換の場の役割を果たします。各支部の申し込みは、毎回、参加受付後数日で定員となり、会場の増設の必要を感じています。又 東京には東北から、大阪へは中国、四国地方からの参加もあり、地方開催の必要性も感じています。

(実施場所) 大阪市天王寺区民センターをはじめとする各支部の最寄り施設の会議室

(実施日時) 各支部とも2か月に1度

(事業の対象者) 不登校児童生徒を持つ母親

(収 入) ¥976,200_

(支 出) ¥745,694_

(2) (事業名) 各支部の参加者が共に学び、親睦を深め、且つ、親だけでなく教育関係者にも不登校に関する知識を提供し、社会変革にもつながる事業

(内 容) 通常、掲示板で親睦を深めている仲間が、地方在住者も含め、集い、また、親だけではなく教育関係者にも参加の枠を広げ不登校に関する学びを深める事業。日頃、家にいる子どもの相手をして、家から出ることが難しい母親の背中を少し押しして、子離れと母親の自立、ストレスコントロールを目的とした事業でもある。

(実施場所) B u m B (ぶんぶ) 東京スポーツ文化館 他 岡山会場でも実施

(実施日時) 2018年7月1日 13:00~15:00
2018年11月23日 14:00~17:00

(事業の対象者) 不登校児童生徒を持つ親、教育関係者

(収 入) ¥246,500_

(支 出) ¥215,160_

IV 社員総会の開催状況

第1回通常総会

(日 時) 2018年3月3日 13時30分~16時
(場 所) YMCA アジア青少年センター
(社員総数) 22名
(出席者数) 22 (うち委任状出席者12名、書面表決者0名)

V 理事会その他の役員会の開催状況

理事会の開催実績はありません。